

令和5年度 町政地区懇談会④(対象地区 大堰)

- 日 時 令和5年6月15日(木) 19時30分～20時38分
- 会 場 大堰コミュニティセンター
- 懇談会参加者 18名

■開会～説明

- (1)町長挨拶
- (2)出席者紹介(副町長)
- (3)予算概要説明(総務課長)
- (4)重点施策説明(総務課長・企画調整課長)

■意見交換

Q1

中学校の跡地にドラッグストアが建つということですが、同業者と潰し合いにはならないですか。

A(町長)

中学校跡地の問題でございます。先ほど少し説明をしましたが、実はこれまで40年間、桜まつりの駐車場とかでしか使えなかったことで、商業地として有力な土地でございます。その中でこれまでも都市計画マスタープランでは、商業地のような部分が計画として入ってございましたけど、この40年間、ほとんど駐車場でしか使われてこなかったと思います。これまでも町内外から提案もあったんですけど、なかなかまとまらなかった経緯もございます。それで皆さんご存じのように、複合施設の教育施設的な案も出たんですけど、それも白紙になってしまったということで、もう1度、有力な土地を町の活性化のために、特に雇用ですとか賑わいを創出したいということで、色々検討した中で、公共施設整備計画推進委員会というところに諮問しまして、結果は先ほど申したように、町ではなくて民間の力を借りて創出すべきだという意見でございました。

町としては、これまでの公設民営、公設公営じゃなくて民設民営って形で、それもルールを作って、公募型の提案制度を使って申込んできたところに、基本的な計画を出してもらおうってことで募集しておりました。その中で大和リースさんという方が、ドラッグストアのクリエイトさんと組んで、申し込んできました。確かに企業同士、民間同士だったので、影響は確かにあると思います。当然、町内の業者とも、影響があるかもしれません。

ただ私が心配をしたのは、このコロナの状況の中で、人口が減ってなかなか企業が出てこないのかなっていう心配もありましたけど、1件出てきたということ。そしてこれまで

と商業形態が違ってきまして、町内の買い物だけであったような買い物形態が、町外も出ていくような形、さらに通販で買う方もありまして、そういう特色を持って商業というのは、利便性が町民の方にこう味わっていただけるのかなってこともあります。

それともう1つは、これまで私どもは地域振興施設も色々やってまいりましたが、何十年も経つとその運営がなかなか展開できない。民間的な発想ができなくて、なかなか運営が苦しいことがございます。そういう中で民設民営の良さは、全て町は借地料に入ります。その中で民設民営ですので、民間の方が作っていただいて運用していただくと。今回の場合は大和リースさんが30年間借りてくれるということで、メリットとしては大きいということで、リスクも少なく貸すことによって、ささやかですけど400万ぐらいは確実に入ってくる。そして取り壊しの費用もかからないということで、ライフサイクルコストと言って、作って運営して壊すまでが民間やってくれるということで、土地も町のものだというのでリスクが少ないってこともありますので、民設民営で街のにぎわいを創出したいということがございます。

町民の方からも、既に東伊豆町に買い物に行っている方もいるようでございますけど、地域に、そういうものができることによって、外から来る方の定住も促進できればいいなと思っております。今回、この会社が30年間借りてくれるということがありますので、リスクを回避した中で有効に利用できればいいのかなということで、今月ぐらいに契約をしたいと思っております。

私どもよくわかりませんが、出てくるからには商売ですので、それなりの見込みがあって出てきたことだと思いますので、民間の力を借りてにぎわいを創出したいと思っております。以上です。

Q2

今日のテーマの中の伊豆縦貫道についてなんですけど、資料24ページに書いてある今後の予定の方が、令和5年度の事業に1億円ということで予算の方は載っているんですけど、完成の時期とか、その先の区間の方が早く欲しいっていう方も多いと思うんですけど、その辺について、もう少し詳しく教えていただきたい。

A(町長)

この事業は、今回の河津七滝インターチェンジから河津逆川インターチェンジは、ちょうど共用化した部分が、少しの間になってしまったので、河津にとっては、この間の国土交通省の調査で約4割が、こっちに降りてこないとか動いてしまったっていうギャップもございます。ただ今後のこと考えると、伊豆縦貫道ができることによって伊豆全体に多くの人が入ってくる。河津町にとっても、インターチェンジができることによって大きな影響が出てくると思います。特に河津町にとっては、天城峠区間の約20kmの開発をいかに

早く進めるかっていうことでございます。

実は 3km 区間が開通をして、少し止まることによってその事業が継続できないってことがあったものですから、茅野-月ヶ瀬間についても、相当皆さんの力によって継続をして事業が決定したという経緯がございます。というのは、1 億円の調査費が事業化することによって、今後の予算がどんどんつきやすくなるということがございます。今後は、1km 区間、将来的には 20km 区間を早く、開通させるために私も努力をしているわけでございます。これまでの経緯を見ても、河津-下田間ですけど、この 2 期というのが箕作までの道路です。そして箕作から先が、下田の敷根まで行く道路でございます。これが 1 期と言っていますが、これまでの経緯を見ても、1 期の方が事業決定されたのは早かったんです。ただいろんな関係で 2 期が早くできたという、進んでいるという状況もありますので、今後も用地などいろんな関係で、計画決定はされてもできるのが早まることもあるかと思っております。今後は、町としては天城峠区間に力を入れてどんどん進めていければいいなと思っております。

ただ国の方に言わせると、この道路は全国的に見ても高い道路だそうです。1km 作るには 100 億円かかっているというところがございます。今回の 3km についても、毎年 100 億円ずつくらい予算が出たわけですけども、3km くらいしか進んでいないということで、実は天城峠区間が全線開通に、3000 億円から 4000 億円かかると言われています。100 億円だと何年かかるかってわかりますよね。30 年と 40 年かかってしまう。それは遅いものですから、予算をせめて倍ぐらいつけてもらって進めることによって早くできるのかなと思っております。計画を見ますとトンネルが中心になりますので、お金さえつけばできるのかなと思っておりますので、浄蓮の滝付近からの区間の事業決定をされて、予算をつけるようなことになれば、どんどんできていくのかなと思っております。

特に私は、この道路ができることによって、命の道としての部分が大きくなっています。皆さんご存知のように、順天堂病院に行くのに、天城峠を越えていくわけです。昼間はドクターヘリがありますけど、天候が悪かったりすると救急車に行かねばならない。曲がりくねったところを救急車で行くことによって、1 時間ぐらいかかってしまう。特にあの脳疾患だとかあの心臓疾患の場合には、1 時間以内とかが重要な時間軸ですので、その分も短縮されることによって、多くの人に命が救われるのかなって、そんな思いもあります。現実的に今回の道路ができたことによって、下田から順天堂病院までが 10 分縮まったということで、消防隊員の話聞きますとスムーズな運搬ができていたということもありますので、命を救う道としての役割もあるのかなということで、特に天城峠区間が早くなることによって、さらに大きいのかなと。

もう 1 つは、災害時の応援部隊が早く来られるということで、全体的には産業だとかいろんな面の効果もありますけど、そういう大きな効果が見込まれる道路ですので、地域みんな要望活動とか、声を上げていかななくてはならないのかなと思っておりますので、また皆さん力を借りながらですね、私とその先頭に立って要望活動を進めていきたいなと思ってお

ります。そういう状況でございます。

Q3

スクールバスが今年度から運行しています。スクールバスに1台、大体何人ぐらいの子どもさんが乗ってらっしゃるでしょうか。

A(教育長)

バスは、29人乗りと14人乗りの2種類のバスを購入しています。上河津から河津小学校へ通っている子どもたちは、29人乗りの方を活用しています。

(町民)

下佐ヶ野方面の大きいバスを見ますが、それは満員ではないですか。

(教育長)

29人乗りで、29人が乗っています。余裕は今ありません。

(町長)

ほとんど、人数を想定して購入しています。私どもは個人で行く方も多いのかなと思ったので、心配ではありましたが、比較的乗っていただいているというのが現状です。町の方が東海バスにお願いをして、自主運行バスのような中学生だとか小学生も使っている部分と、町バスっていうのを使っている部分がありますけど、この場合はスクールバスという形で小学校の統合の条件として、上河津地区と見高地区は交通手段を確保しなさいという条件だと思うので、それについては確実に全員が乗れるような体制を取っております。現状使っていただいているということでございます。梨本とか書いてあるバス、それがスクールバスで、待機場所はバガテル公園の駐車場ですから、終わるとそこに駐車させるという状況。一応ほとんどの方は乗っていただいている状況でございます。

ちなみにこのスクールバスは、文科省の補助金をいただいて購入しておりますので、そういうことも考慮しながら、今後バスをもう少し空いている時間に有効的に使えばいいかなという思いもあるんですけど、文科省の補助金の規制があるみたいなもので、許可取れば使えることもあるようですので、せっかく購入したバスですので、その辺がクリアできれば、もう少し有効に使うこともできると思うので研究したいなと思っております。

Q4

今、使っていない小学校2つのこれからの計画というのは全然見えてこないですけど、こ

れについてお願いします。

A(町長)

小学校の跡地と校舎の活用の問題です。これは全国的にも、大きな問題となっています。これまでも考えてはきたんですけど、実は東小学校、西小学校については法的な規制がございます。というのは、不特定多数の人が使用する場合には、校舎を使えない。それは道路が6mとか8mの道路に接してないと、不特定多数の人が使えない。学校でしたら良かったんですけど、それが1つの条件としてあります。今考えているのが、不特定多数が使うような施設にするのか、例えば工場のような不特定多数が使わないようなものもあるので、担当の方で今年から整備検討委員会というのを設けて、特に東小学校、西小学校の跡地をどうしていこうかということで検討を始めております。15人のいろんな方が入って、可能性を探っております。そういう中で行っているのが、サウンディングと言う、民間の方に公共施設を活用する方法を意見交換しながら、調査をするというやり方があります。これも静岡県の方で計画しているものがありまして、それに私は申し込んで県と一緒に、さあやっっていこうってことに動き始めたところでございます。そういうことで法的な規制もありますけど、とりあえずどんなものが考えられるのか、それによって不特定多数の人が使えるものなのか、あるいはそうでなくて別のものができるのかと、その辺も銀行さんなどいろんな意見を聞きながら、考えていきたいなと思って15の方で編成をして始めております。

Q5

大堰の壊れた橋について、いつ手を加えてくれるか。

A(副町長)

カッパ橋については、今の時点では架け替えをするというような形は予定をしておりません。

(町民)

架け替えじゃなくて、網みたいなものがかかっている、上峰の方はちゃんとやってあるが、大堰の方はやっていない。

(副町長)

担当課の方が今いないですけども、こちらの方も今年、予算計上してあったかと思うんですけど、また確認してお知らせをするような形で申し訳ないですけど、よろしく願いいたします。

(町民)

落ちている残骸はその時にやるんですか。

(副町長)

落ちている残骸は、お金が非常にかかります。今、河川の土木事務所の方が県の管理になっているものですから、今のところ支障がないということで、そのままということで考えております。

(町民)

支障がないというが、子どもたちが泳ぐときに、鉄筋棒とかが出ているのは、結構危ないなと見ていて思うんですけど。

(教育長)

また担当の方と少し相談をさせてもらって、このような形ができるか話をさせていただきます。

〈町長からごみについて〉

(町長)

昨年、ごみ袋の料金を上げさせていただいて、ごみの減量化も進めていくってことは、おかげ様で、皆さんが出しているゴミも減ってきました。そして役場のところにリサイクルのストックヤードを設けまして、資源ごみについては、各ごみを出すところではなくて、そこの中に入れてストックをして、再資源化をしようってことでやっております。多くの方に利用させていただいておりますので、今後ともごみの減量化については、社会問題でもありますので、リサイクルも含めて協力をお願いしたいなと思っています。

一応、おかげ様で東河地区は、東伊豆と河津でエコクリーンセンターというものをやっておりますけど、延命化も全て終わっておりますので今後、大きな改修工事等は必要ないと思います。今、下田の方で大きな問題になっておりますけど、河津町については、その問題はクリアされています。

併せて、長野地区の東伊豆町境に、し尿処理施設があります。それも今、施設の改修をしております。9億円ぐらいかかるんですけど、それも今年度中にし尿処理施設の延命化をしようってことでやっておりますので、そうするとごみとし尿は、15年ぐらいは大丈夫なのかなという形になります。ただこれについて、今年の10月頃から20日間くらい、持ち込みはできない部分ができます。施設を直す時に搬入ができないという条件になりま

す。その場合には、近隣の市町に協力いただいて持っていくことにはなっておりますけど、なるべくなら費用もかかりますから、その時にはお知らせしますのでぜひとも協力をお願いしたいと思います。おかげさまで、河津町は東伊豆町と一緒にあって、ごみとし尿については、順調に延命化が進んでいるということでございます。